

## 第35回日本外傷学会総会・学術集会

### プログラム・抄録

---

**会長** 防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門・病院救急部  
齋藤 大蔵

**会期** ライブ発表：2021年5月27日(木)～28日(金)  
オンデマンド配信：2021年6月1日(火)～30日(水)

**会場** 完全 WEB 開催

---



## ご挨拶



謹啓

新緑の候、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。平素より日本外傷学会の学術活動にご理解、ご協力を戴き、厚く御礼いたします。

さて、わたくしこのたびの日本外傷学会総会・学術集会の会長を仰せつかり、第35回日本外傷学会総会・学術集会を2021年5月27日(木)、28日(金)に開催させて戴くことになりました。大変光栄なことであり、身が引き締まる思いでございます。そして、テーマは「外傷医療 - 明日にかけの橋 -」とさせて戴きました。

まず、お伝えしたいことは、昨今のCOVID-19ウイルスのパンデミックにともない、開催形式を熟慮・検討した結果、本総会・学術集会の通常開催を断念し、オンラインによる完全ウェブ形式で開催することにしたこととあります。皆様にはご不便をおかけするかもしれませんが、ウイルスに屈することなく、新しい時代にむけて学術・研究活動を引き続き進めることが大切であると使命感を感じて、オンライン形式での開催を決心した次第です。皆様に十分なご討論を戴けますよう、ライブディスカッションの機会も最大限に設けさせて戴く所存ですので、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

日本外傷学会はその定款によれば、外傷学に関する情報の収集、提供、および交換を行うことによって、外傷学ならびに関連分野の進歩、発展に貢献するとともに、日本国民の生命と健康の保全に寄与することを目的とした学術団体とされています。前身である日本外傷研究会の設立から約35年が経過し、この間に本学会は外傷初期診療ガイドライン(JATEC)コース、日本外傷データベース(JTDB)、学会臓器損傷分類、多施設臨床研究などの企画を立ち上げ、本邦における外傷診療の質向上の実現に大きく貢献して参りました。

現時点で本学会会員数は約2,200名ですが、年一回開催される日本外傷学会総会・学術集会は、救急医、外科医、脳神経外科医、整形外科医を中心に、基礎医学研究者、看護師、診療情報管理士らが約1,000名集まり、外傷医療全般に関して討議する学際的な伝統ある学術集会になりました。この活気ある学術的な情報交換が近未来の外傷医療に少しでも貢献し、将来を担う若い医師・医療関係者に外傷医療発展を目指す情熱と心意気が伝わることを切に願い、本学会のテーマを「外傷医療 - 明日にかけの橋 -」とさせて戴いた次第です。本学会の演題登録がコロナ禍の状況で危ぶまれましたが、会員の先生方の御蔭で215題の演題登録をして戴きました。心から御礼を申し上げるとともに、何とぞ多数のご参加を戴き、オンラインLIVE形式による活発な学術的討論をお願いできればと存じます。何とぞ宜しくようお願い申し上げます。

謹白

第35回日本外傷学会総会・学術集会  
会長： 齋藤 大蔵

## 日本外傷学会会長

(※第1回～第8回までは研究会)

回数	開催日	会場	会長	所属
1回	1987年5月29日～30日	東條会館	小林 國男	帝京大学医学部附属病院 救命救急センター
2回	1988年5月27日～28日	日本都市センター	大塚 敏文	日本医科大学救命救急センター
3回	1989年6月1日～2日	札幌市教育文化会館	金子 正光	札幌医科大学救急集中治療部
4回	1990年4月19日～20日	大阪商工会議所	吉岡 敏治	大阪大学医学部救急医学
5回	1991年5月30日～31日	石橋文化センター	加来 信雄	久留米大学救命救急センター
6回	1992年5月21日～22日	福島県文化センター	元木 良一	福島県立医科大学第一外科
7回	1993年5月20日～21日	メルパルク OKINAWA (郵便貯金会館)	真栄城優夫	沖縄県立中部病院院長
8回	1994年5月19日～20日	倉敷市芸文館	藤井 千穂	川崎医科大学救急医学
9回	1995年5月17日～19日	スクワール麴町	前川 和彦	東京大学医学部救急医学
10回	1996年5月29日～30日	千里ライフサイエンスセンター ビル	太田 宗夫	大阪府立千里救命救急センター
11回	1997年5月29日～30日	スクワール麴町	島崎 修次	杏林大学救急医学
12回	1998年5月7日～8日	東京ガーデンパレス	鈴木 忠	東京女子医科大学救急医学
13回	1999年5月27日～28日	日本教育会館	山本 保博	日本医科大学救急医学
14回	2000年5月25日～26日	新横浜プリンスホテル	大和田 隆	北里大学医学部救命救急医学
15回	2001年5月25日～26日	日本海運倶楽部/赤坂プリンス ホテル	辺見 弘	国立病院東京災害医療センター
16回	2002年5月16日～17日	スクワール麴町	岡田 芳明	防衛医科大学校救急部
17回	2003年5月15日～16日	国立京都国際会館	中谷 壽男	関西医科大学医学部救急医学
18回	2004年5月20日～21日	札幌プリンスホテル 国際館パミール	浅井 康文	札幌医科大学医学部救急治療部
19回	2005年5月26日～27日	新横浜プリンスホテル	吉井 宏	済生会神奈川県病院院長
20回	2006年5月25日～26日	全日空ホテルズ ホテルグランコート名古屋	荒木 恒敏	藤田保健衛生大学救急部
21回	2007年5月24日～25日	ホテルニューオータニ幕張	葛西 猛	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院救命救急センター
22回	2008年5月29日～30日	沖縄コンベンションセンター	平安山英盛	沖縄県立中部病院院長
23回	2009年5月28日～29日	スイスホテル南海大阪	坂田 育弘	近畿大学医学部救急医学
24回	2010年5月27日～28日	ホテルニューオータニ幕張	益子 邦洋	日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター

回数	開催日	会場	会長	所属
25回	2011年5月19日～20日	リーガロイヤルホテル堺	横田順一郎	市立堺病院副院長
26回	2012年5月24日～25日	リーガロイヤルホテル東京	木村 昭夫	(独)国立国際医療研究センター 病院救命救急センター
27回	2013年5月23日～24日	ホテルマリタレ創世	坂本 照夫	久留米大学医学部救急医学
28回	2014年6月25日～26日	東京ビッグサイト TFT ホール	横田 裕行	日本医科大学大学院医学研究科 救急医学分野
29回	2015年6月11日～12日	札幌コンベンションセンター	新藤 正輝	帝京大学医学部附属病院 救急科・外傷センター
30回	2016年5月30日～31日	ソラシティー カンファレンスセンター	大友 康裕	東京医科歯科大学大学院救急災害 医学分野
31回	2017年6月1日～2日	パシフィコ横浜	北野 光秀	済生会横浜市東部病院 横浜市重症外傷センター
32回	2018年6月21日～22日	国立京都国際会館	村尾 佳則	近畿大学医学部救急医学教室
33回	2019年6月6日～7日	八戸市公会堂・公民館	今 明秀	八戸市立市民病院院長
34回	2020年12月7日～8日	ライブストーリーミング配信	久志本成樹	東北大学大学院医学系研究科 外科病態学講座救急医学分野
35回	2021年5月27日～28日	完全 WEB 開催	齋藤 大蔵	防衛医科大学校防衛医学研究 センター外傷研究部門
36回	2022年6月30日～ 7月1日	大阪国際会議場	松岡 哲也	りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター

## 第35回日本外傷学会 諸会議日程

### ■開催概要

会 長：齋藤 大蔵（防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門・病院救急部教授）

テーマ：外傷医療 - 明日にける橋 -

会 期：ライブ発表：2021年5月27日（木）～28日（金）

オンデマンド配信：2021年6月1日（火）～30日（水）

会 場：完全 WEB 開催

### ■主な会議および日時

会員総会：2021年5月27日（木）13：10～13：40（Web 第1会場）

第35回日本外傷学会総会・学術集会  
日程表

第35回日本外傷学会総会・学術集会 日程表  
第1日目 5月27日(木)

	Web 第1会場	Web 第2会場	Web 第3会場
9:00	8:50~9:00 開会式・会長挨拶 9:00~10:00 <b>特別講演3</b> 演者：Mark W. Bowyer 司会：大友 康裕	9:00~10:00 <b>特別講演5</b> 演者：Michael J. Hopmeier 司会：山田 憲彦	9:00~9:40 <b>一般口演6</b> 四肢外傷 座長：加藤 宏
10:00	10:10~11:10 <b>教育講演1*</b> 演者：丸藤 哲 司会：久志本成樹	10:10~11:20 <b>パネルディスカッション1</b> 外傷医療における医療機器の進歩 座長：船曳 知弘 霧生 信明	9:50~10:30 <b>一般口演7</b> IVR・NOM (1) 座長：山崎 元靖
11:00	11:20~11:45 <b>一般口演1</b> 小児外傷 座長：山内 聡	11:30~11:55 <b>一般口演2</b> 骨盤・後腹腔外傷 座長：田中 啓司	10:40~11:15 <b>一般口演8</b> IVR・NOM (2) 座長：松村 洋輔
12:00	12:00~13:00 <b>共催ウェビナー1：凸版印刷</b> 演者：高橋 隼人 司会：田中 裕	12:00~13:00 <b>共催ウェビナー2：キヤノンメディカルシステムズ</b> 演者：山田 徳和 守谷 俊 司会：石原 諭	11:25~12:00 <b>一般口演9</b> 高齢者外傷 座長：則尾 弘文
13:00	13:10~13:40 <b>会員総会</b>	13:10~14:10 <b>教育講演2*、***</b> 演者：富岡 讓二 司会：横田順一朗	12:05~13:05 <b>共催ウェビナー3：</b> 一般社団法人 日本血液製剤機構 演者：田上 隆 司会：久志本成樹
14:00	13:50~14:20 <b>会長講演</b> 司会：松岡 哲也	14:20~15:20 <b>教育講演4*</b> 演者：船曳 知弘 司会：田中 裕	13:10~14:00 <b>教育講演8**</b> 演者：高倉 経之 司会：三宅 康史
15:00	14:30~15:30 <b>教育講演3*</b> 演者：藤田 尚 司会：溝端 康光	15:30~16:20 <b>教育講演5</b> 演者：佐藤 俊一 司会：横田 裕行	14:10~17:50 <b>教育講演9**</b> JTDB セミナー：AIS2008 コーディング (実習を含む) 演者：東平日出夫 司会：阪本雄一郎
16:00	15:40~17:20 <b>シンポジウム1</b> 本邦の外傷医療は本当に向上したか 座長：坂本 哲也 大友 康裕	16:30~17:20 <b>教育講演7</b> 演者：堀口 明男 司会：関根 和彦	18:00~18:40 <b>一般口演10</b> 顔面・頸部外傷 座長：佐々木淳一
18:00	17:30~19:20 <b>シンポジウム5</b> 多様化する対テロおよび特殊災害時における 初動対応 座長：松田 潔 関根 康雅	17:30~18:10 <b>一般口演3</b> 外傷診療体制 (1) 座長：中野 実	18:50~19:50 <b>一般口演11</b> COVID-19 座長：藤見 聡
19:00		18:20~19:00 <b>一般口演4</b> 外傷診療体制 (2) 座長：守谷 俊	
20:00	19:30~20:30 <b>教育講演6</b> 演者：木下 学 司会：田崎 修	19:10~20:00 <b>一般口演5</b> 頭部外傷 座長：清田 和也	20:00~20:50 <b>一般口演12</b> 外傷教育 座長：井上 貴昭
21:00			

\*【救急科領域講習】日本救急医学会・救急科専門医 単位付与対象。ただしライブ配信のみ。同一時間帯に開催された領域講習は複数単位取得できません

\*\*【AIS セミナー】日本外傷学会専門医 単位付与対象。オンデマンドで単位取得可能

\*\*\*【外傷教育セミナー】日本外科学会・外科専門医 単位付与対象。オンデマンドで単位取得可能



第35回日本外傷学会総会・学術集会 日程表  
第2日目 5月28日(金)

	Web 第1会場	Web 第2会場	Web 第3会場
9:00	9:00~10:00 <b>特別講演 1</b> 演者：Ibolja Cernak 司会：木村 昭夫	9:00~10:00 <b>特別講演 2</b> 演者：Geoffrey S.F. Ling 司会：森村 尚登	9:00~10:20 <b>パネルディスカッション 3</b> 外傷画像診断の最前線 座長：河野 元嗣 土谷 飛鳥
10:00	10:10~11:10 <b>特別講演 4</b> 演者：Teryn R. Roberts 司会：小倉 崇以	10:10~11:10 <b>シンポジウム 2</b> 新専門医制度に基づく次世代の外傷医に 求められるもの 座長：今 明秀 金子 直之	10:30~12:00 <b>パネルディスカッション 6</b> REBOA に関する現状と展望 座長：井上 潤一 吉村 有矢
11:00	11:15~11:50 <b>一般口演 13</b> 集中治療 座長：木下 浩作	11:15~11:55 <b>一般口演 16</b> 病院前外傷診療 座長：根本 学	
12:00	12:00~13:00 <b>共催ウェビナー 4</b> ：ケーシーアイ 演者：吉川 淳 司会：根本 学	12:00~13:00 <b>共催ウェビナー 5</b> ：TXP Medical 演者：藤田 健亮 園生 智弘 司会：渡部 広明	
13:00	13:10~14:40 <b>シンポジウム 3</b> 重症外傷の血液凝固線溶異常に対して 座長：丸藤 哲 久志本成樹	13:10~14:30 <b>シンポジウム 4</b> 重症頭部外傷の臨床最前線 座長：横堀 将司 戸村 哲	13:10~14:20 <b>パネルディスカッション 5</b> 頸髄損傷治療の現状と展望 座長：井口 浩一 山村 仁
14:00		14:40~16:30 <b>パネルディスカッション 4</b> 日本外傷データベースを用いた研究最前線 座長：三宅 康史 東平日出夫	14:30~15:30 <b>パネルディスカッション 8</b> IVRの基礎を放射線科で学ぶ必要性 座長：近藤 浩史 船曳 知弘
15:00	14:50~16:20 <b>パネルディスカッション 2</b> 次世代に伝えたい匠の技 座長：渡部 広明 原 義明		15:40~16:30 <b>一般口演 20</b> 腹部外傷 (1) 座長：小谷 穰治
16:00	16:30~17:40 <b>パネルディスカッション 7</b> 外傷に関するAI等の先端科学に関する研究 座長：岡本 健 西山 慶	16:50~17:40 <b>一般口演 17</b> 多発外傷 (1) 座長：小倉 裕司	16:40~17:20 <b>一般口演 21</b> 腹部外傷 (2) 座長：石原 諭
17:00		17:50~18:30 <b>一般口演 18</b> 多発外傷 (2) 座長：鎌方 安行	17:30~18:20 <b>一般口演 22</b> Damage Control Surgery 座長：村田 希吉
18:00	17:50~18:50 <b>一般口演 14</b> 胸部外傷 (1) 座長：高須 朗	18:40~19:40 <b>一般口演 19</b> 脊椎・脊髄外傷 座長：鈴木 卓	18:30~19:40 <b>一般口演 23</b> 外傷初期診療 座長：清住 哲郎
19:00	19:00~20:00 <b>一般口演 15</b> 胸部外傷 (2) 座長：加地 正人		19:50~20:30 <b>一般口演 24</b> その他 座長：山下 典雄
20:00			20:30~20:40 <b>閉会式・会長挨拶</b>
21:00			

## <参加者へのお知らせ>

### ■ WEB 開催の配信期間

ライブ発表：2021年5月27日(木)～28日(金)  
オンデマンド配信：2021年6月1日(火)～30日(水)

### ■ 参加受付

#### 1. 参加登録期間

2021年4月5日(月)13:00～6月30日(水)17:00

#### 2. 参加登録方法

参加登録はオンラインのみで受け付けいたします。  
第35回日本外傷学会総会・学術集会ホームページ  
<http://www.academiasupport.org/jast2021.html> よりアクセスしてください。

#### 3. ご依頼した指定演者を除き、演者は本会会員に限ります。

未入会の方は速やかに日本外傷学会事務局にて入会手続きをお取りください。  
<日本外傷学会事務局>

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル  
(株)春恒社 学会事業部内

TEL: 03-5291-6259 FAX: 03-5291-2176 E-mail: [jast@shunkosha.com](mailto:jast@shunkosha.com)

※なお、初期研修医、看護師、コメディカル、救急隊員は会員である必要はありませんので、入会手続きは不要です。

#### 4. 参加費

医師12,000円

看護師等コメディカル・研究者・その他5,000円(要職員証)

学生無料(要学生証)

※参加費のお支払いはクレジットカードまたは銀行振込みです。

※学生は、学生証の提示もしくは施設長の証明があれば参加費を免除いたします(但し、大学院生は除く)。参加登録時に運営事務局宛にメールでお送りください。

<運営事務局> [jast2021@academiasupport.org](mailto:jast2021@academiasupport.org)

#### 5. 参加証

参加登録完了後、2021年5月27日(木)以降にWEB上にて参加証をダウンロード可能です。

#### 6. e 医学会カードの登録

詳細は第35回日本外傷学会総会・学術集会ホームページ  
<http://www.academiasupport.org/jast2021.html>にてご案内いたします。

#### 7. 抄録集

抄録集を1部2,200円(本体2,000円+税10%)で販売いたします。日外傷会誌35巻2号(2021)

購入をご希望の方は、日本外傷学会事務局へメールでご連絡ください。

発送にかかる送料は別途頂戴いたします。

<日本外傷学会事務局>

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル  
(株)春恒社 学会事業部内

TEL: 03-5291-6259 FAX: 03-5291-2176

E-mail: [jast@shunkosha.com](mailto:jast@shunkosha.com)

■【救急科領域講習】日本救急医学会・救急科専門医 単位付与対象

1. 5月27日(木) 教育講演1 丸藤 哲先生「DICと外傷性凝固障害」(Web第1会場 10:10-11:10)
2. 5月27日(木) 教育講演2 富岡 譲二先生「新しい時代のJATEC」(Web第2会場 13:10-14:10)
3. 5月27日(木) 教育講演3 藤田 尚先生「DSTCを中心にした外傷外科教育」(Web第1会場 14:30-15:30)
4. 5月27日(木) 教育講演4 船曳 知弘先生「重症外傷におけるダメージコントロールIVRとは」(Web第2会場 14:20-15:20)

※専門医領域講習として各々の受講歴で登録可能です。なお、単位の付与については、LIVEで聴講する必要があります。したがって、同一時間帯に開催された領域講習は、複数単位取得することはできません。重複して受講登録があった場合は、当該受講登録は全て取り消しになります。

詳細は第35回日本外傷学会総会・学術集会ホームページ

<http://www.academiesupport.org/jast2021.html>にてご案内します。

■【AISセミナー】日本外傷学会専門医 単位付与対象

1. 5月27日(木) 教育講演8 高倉 経之様「日本外傷データベースの新システム構築とデータ入力について」(Web第3会場 13:10-14:00)
- 5月27日(木) 教育講演9 東平日出夫先生「JTDBセミナー: AIS2008コーディング(実習を含む)」(Web第3会場 14:10-17:50)

※単位の付与については、第35回日本外傷学会総会・学術集会ホームページ

<http://www.academiesupport.org/jast2021.html>にてご案内します。

※オンデマンドでも単位取得可能です。

■【外傷教育セミナー】日本外科学会・外科専門医 単位付与対象

1. 5月27日(木) 教育講演2 富岡 譲二先生「新しい時代のJATEC」(Web第2会場 13:10-14:10)

※単位の付与については、第35回日本外傷学会総会・学術集会ホームページ

<http://www.academiesupport.org/jast2021.html>にてご案内します。

※オンデマンドでも単位取得可能です。

## <座長・発表者へのお知らせ>

※第35回日本外傷学会総会・学術集会ホームページ

<http://www.academiesupport.org/jast2021.html>にてご案内いたします。

第35回日本外傷学会総会・学術集会

メインテーマ「外傷医療 - 明日にける橋 -」

<特別プログラム>

■会長講演

司会：地方独立行政法人りんくう総合医療センター大阪府泉州救命救急センター 松岡 哲也  
PL「外傷医療 - 明日にける橋 -」

防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門・病院救急部 齋藤 大蔵

■特別講演

司会：国立国際医療研究センター病院救命救急センター 木村 昭夫  
SP-1「**Blast-induced Neurotrauma : The Role of Ultrastructural Impairments in Complex Cognitive Dysfunction**」

Professor, Pathophysiology & Neuroscience, Department of Biomedical Sciences,  
Mercer University School of Medicine, Georgia, USA Ibolja Cernak

司会：東京大学医学部附属病院救命救急センター 森村 尚登  
SP-2「**Military Contributions to the Future of Medicine**」

COL (R), Medical Corps, US Army / Professor of Neurology, USU /  
Professor of Neurology, Johns Hopkins, USA Geoffrey S.F. Ling

司会：東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター 大友 康裕  
SP-3「**Preparing Surgeons for Combat : A Novel Approach to Training and Assessment**」

Professor, Ben Eiseman Professor of Surgery Chief, Division of Trauma and Combat  
Surgery, Uniformed Services University and the Walter Reed National Military  
Medical Center, Bethesda, USA Mark W. Bowyer

司会：済生会宇都宮病院救命救急センター 小倉 崇以  
SP-4「**Bio-Inspired Surfaces and Regional Anticoagulation Strategies for Extracorporeal Life Support : Material Assessment and Development Protocol for Clinical Translation**」

The U.S. Army Institute of Surgical Research, San Antonio, USA Teryn R. Roberts

司会：神奈川県非常勤顧問・航空自衛隊元空将 山田 憲彦  
SP-5「**Overcoming Tradition ; Asking the Right Questions Will Lead Us to Use Whole Relevant Resources even Including Non-Medical Countermeasures in Catastrophe and Pandemic**」

President, Unconventional Concepts, Inc., USA Michael J. Hopmeier

■教育講演

司会：東北大学病院高度救命救急センター 久志本成樹  
EL-1「**DIC と外傷性凝固障害**」

札幌東徳洲会病院救急集中治療センター 丸藤 哲

- 司会：堺市立総合医療センター 横田順一郎
- EL-2 「新しい時代の JATEC」  
社会医療法人緑泉会米盛病院救急科 富岡 譲二
- 司会：大阪市立大学医学部附属病院救命救急センター 溝端 康光
- EL-3 「DSTC を中心にした外傷外科教育」  
帝京平成大学健康メディカル学部 藤田 尚
- 司会：順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科 田中 裕
- EL-4 「重症外傷におけるダメージコントロール IVR とは」  
藤田医科大学病院救急科 / 済生会横浜市東部病院救命救急センター 船曳 知弘
- 司会：日本体育大学保健医療学研究科 横田 裕行
- EL-5 「レーザー誘起衝撃波を用いた頭部爆傷研究最前線」  
防衛医科大学校防衛医学研究センター生体情報・治療システム研究部門 佐藤 俊一
- 司会：長崎大学病院救命救急センター 田崎 修
- EL-6 「人工血液 ～外傷治療における明日にける橋～」  
防衛医科大学校免疫・微生物学講座 木下 学
- 司会：東京都済生会中央病院救急診療科 関根 和彦
- EL-7 「骨盤骨折にともなう尿道外傷のマネジメント ～適切な初期治療と待機的治療は何か？～」  
防衛医科大学校泌尿器科学講座 堀口 明男
- 司会：帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター 三宅 康史
- EL-8 「日本外傷データベースの新システム構築とデータ入力について」  
バース・ビュー株式会社救急・災害医療 ICT 開発部 高倉 経之
- 司会：佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター 阪本雄一郎
- EL-9 「JTDB セミナー：AIS2008コーディング（実習を含む）」  
Curtin University, Prehospital, Resuscitation, Emergency Care Research Unit, Australia 東平日出夫
- シンポジウム 1 「本邦の外傷医療は本当に向上したか」  
座長：帝京大学医学部附属病院 坂本 哲也  
東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター 大友 康裕
- S1-1 「防ぎえる外傷死（Preventable Trauma Death；PTD）への取り組み」  
東京医科歯科大学 大友 康裕
- S1-2 「日本の外傷医療の向上とその要因と課題」  
筑波記念病院 阿部 智一
- S1-3 「日本の単独頭部外傷の死亡リスクは改善している：JTDB を使った大規模コホート研究」  
大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 細見 早苗
- S1-4 「千葉県交通事故死亡事例における防ぎ得た外傷死（PTD）の10年間推移」  
日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 本村 友一
- S1-5 「本邦の小児外傷における院内死亡率の年次推移」  
東京大学医学部附属病院災害医療マネジメント部 問田 千晶

- S1-6 「内閣府が示す交通事故対策における救助・救急活動の成果と今後の課題」  
自治医科大学附属さいたま医療センター救急科 守谷 俊
- S1-7 「UK trauma system と比較した当院の重症開放骨折の治療成績と今後の展望」  
埼玉医科大学総合医療センター 森井 北斗
- S1-8 「地域における外傷医療体制の評価：防ぎ得た外傷死は存在するのか」  
防衛医科大学校病院救急部 / 八戸市立市民病院救命救急センター 吉村 有矢
- シンポジウム2 「新専門医制度に基づく次世代の外傷医に求められるもの」  
座長：八戸市立市民病院救命救急センター 今 明秀  
深谷赤十字病院救命救急センター 金子 直之
- S2-1 「外傷専門医の地域による偏在是正と高い質の維持」  
八戸市立市民病院 今 明秀
- S2-2 「合併症を起こさない気管挿管を基本として、A、Bの異常に対応できる技術が求められる」  
聖路加国際病院救急部・救命救急センター 一二三 亨
- S2-3 「JATEC テキスト・コース改訂と今後の課題」  
東京医科大学救急・災害医学分野 織田 順
- S2-4 「新専門医制度に基づく次世代の外傷医に求めるもの：専門医を認定する立場から」  
日本外傷学会専門医認定委員会 河野 元嗣
- シンポジウム3 「重症外傷の血液凝固線溶異常に対して」  
座長：札幌東徳洲会病院救急集中治療センター 丸藤 哲  
東北大学病院高度救命救急センター 久志本成樹
- S3-1 「基調講演：外傷性凝固障害 — 時を争う病態把握と治療」  
東北大学病院高度救命救急センター 久志本成樹
- S3-2 「外傷患者に対するトラネキサム酸の効果の検証にはさらなる研究が必要である」  
亀田総合病院 白石 淳
- S3-3 「当院における重症外傷症例に対するフィブリノーゲン製剤の適応について」  
大阪府済生会千里病院千里救命救急センター 伊藤 裕介
- S3-4 「外傷・内因・医原性を包括した外傷医が主導する危機的出血体制」  
JCHO 中京病院救急科 中島 紳史
- S3-5 「外傷患者におけるアンチトロンビンに関する検討」  
北海道大学病院救急科 高橋 正樹
- S3-6 「凝固線溶系マーカーのモニタリングに基づいた頭部外傷治療」  
日本医科大学付属病院高度救命救急センター 中江 竜太
- S3-7 「外傷直後の凝固の活性化と線溶反応の推移 ～ラット多発外傷モデルからの考察～」  
北海道大学病院救急科 早川 峰司
- シンポジウム4 「重症頭部外傷の臨床最前線」  
座長：日本医科大学付属病院高度救命救急センター 横堀 将司  
防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門 戸村 哲
- S4-1 「重症頭部外傷患者における生命機能転帰改善のための方策」  
日本医科大学付属病院高度救命救急センター 横堀 将司
- S4-2 「日本頭部外傷データベース (JNTDB) から見た重症頭部外傷の現状」  
千葉県救急医療センター 宮田 昭宏

S4-3 「重症頭部外傷の治療戦略」

国際医療福祉大学成田病院脳神経外科 末廣 栄一

S4-4 「重症急性硬膜下血腫の転帰を改善するには超緊急の減圧開頭術が必要である！」

済生会滋賀県病院救命救急センター・救急集中治療科 塩見 直人

S4-5 「多発外傷を伴う小児重症頭部外傷と頭蓋内圧モニタリング」

日本医科大学多摩永山病院救命救急センター 柴田 あみ

S4-6 「乳幼児急性硬膜下血腫の診断と治療 - 虐待による頭部外傷との鑑別 -」

埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター 荒木 尚

■シンポジウム5 「多様化する対テロおよび特殊災害時における初動対応」

座長：日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター 松田 潔

防衛医科大学校病院救急部 関根 康雅

S5-1 「大量殺傷事案の初動は事案の覚知と安全管理が特に重要である - 津久井やまゆり園事件 -」

北里大学医学部救命救急医学 服部 潤

S5-2 「登戸多数殺傷事件における DMAT 活動 - 現場対応の観点から -」

日本医科大学武蔵小杉病院救命救急科 大嶽 康介

S5-3 「川崎殺傷事件における初期対応の課題」

聖マリアンナ医科大学救急医学 下澤 信彦

S5-4 「当院における集団刺傷事件（津久井やまゆり園・登戸通り魔）の受入経験について」

新百合ヶ丘総合病院 伊藤 敏孝

S5-5 「京都アニメーション放火殺人事件における救急対応」

京都第一赤十字病院救命救急センター救急科 高階謙一郎

S5-6 「空港におけるテロ発生時の初動対応と空港直近医療機関のトリアージ拠点化」

りんくう総合医療センター大阪府泉州救命救急センター救命診療科 成田麻衣子

S5-7 「災害初動時における NBC 救急車の病院手術室としての活用」

東京女子医科大学東医療センター 庄古 知久

S5-8 「在レバノン・パレスチナ難民支援事業の成果と課題 ～ベイルート爆発事故の検証～」

日本赤十字社和歌山医療センター外傷救急部 / 外科 / 国際医療救援要員 益田 充

S5-9 「2011年ノルウェー連続テロ事件に対するオスロ大学病院 Level 1 外傷センターでの対応」

東京都立多摩総合医療センター救命救急センター 小山 知秀

■パネルディスカッション1 「外傷医療における医療機器の進歩」

座長：藤田医科大学病院救急科 / 済生会横浜市東部病院救命救急センター 船曳 知弘

防衛医科大学校病院救急部 霧生 信明

PD1-1 「TEG6s, i-STAT, 画像伝送システムを搭載したドクターカーによる病院前診療と Hybrid ER の効果」

島根大学医学部附属病院高度外傷センター 室野井智博

PD1-2 「外傷医療における医療機器の進歩当施設におけるハイブリッド ER の運用について」

東北大学病院高度救命救急センター 藤田 基生

PD1-3 「超軽量ポータブルX線装置を活用した外傷診療の実践」

日本医科大学付属病院高度救命救急センター 五十嵐 豊

PD1-4 「一時的閉腹法と Open abdominal management の進歩」

帝京大学医学部附属病院 長尾 剛至

PD1-5 「外傷医療における医療機器の進歩ともいえる止血帯（ターニケット）とその特徴について」

防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門 関根 康雅

■パネルディスカッション2 「次世代に伝えたい匠の技」

- 座長：島根医科大学 Acute Care Surgery 講座 渡部 広明  
日本医科大学付属病院高度救命救急センター 原 義明
- PD2-1 「手術に対する私のポリシー」  
深谷赤十字病院外傷・救命救急センター 金子 直之
- PD2-2 「肝胆膵領域における外傷外科手術手技」  
島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座 渡部 広明
- PD2-3 「膵空腸吻合手技の工夫とその実際」  
旭川医科大学外科学講座肝胆膵・移植外科学分野 萩原 正弘
- PD2-4 「Don't Feel. Think! ～画像の中に真実あり～」  
聖マリアンナ医科大学救急医学救急放射線部門 松本 純一
- PD2-5 「外傷診療における Interventional Radiology の匠の技」  
帝京大学ちば総合医療センター IVR センター 村田 智
- PD2-6 「重度胸壁外傷患者に対する観血的肋骨固定の有用性と長期的成績」  
大阪市立大学医学部附属病院救命救急センター 内田健一郎
- PD2-7 「出血性ショックに対する右心耳内輸液 (IRRAA) の可能性」  
公立豊岡病院但馬救命救急センター 永嶋 太

■パネルディスカッション3 「外傷画像診断の最前線」

- 座長：筑波メディカルセンター病院救急診療科 河野 元嗣  
国立水戸医療センター救命救急センター 土谷 飛鳥
- PD3-1 「外傷診療における2管球CT装置の有用性」  
国立病院機構水戸医療センター 田中 善啓
- PD3-2 「胸壁損傷による胸腔内容量変化による肺炎予測能の検証 既存の評価法との比較」  
奈良県立医科大学高度救命救急センター 川井 廉之
- PD3-3 「優れた外傷画像診断には多職種チームによる地道な画像作成適正化が必要である」  
和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 米満 尚史
- PD3-4 「四肢外傷における WorkStation を使用した手術プランニング支援画像の有用性」  
湘南鎌倉総合病院 清水 利光
- PD3-5 「ハイブリッドERにおけるwhole body CTの実際 -診療放射線技師の立場から-」  
済生会横浜市東部病院放射線部 藤森 章史
- PD3-6 「画像は予後を改善しない」  
聖マリアンナ医科大学救急医学救急放射線部門 昆 祐理

■パネルディスカッション4 「日本外傷データベースを用いた研究最前線」

- 座長：帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター 三宅 康史  
Curtin University, Australia 東平日出夫
- PD4-1 「日本外傷データベースを用いたテーラーメイド医療の展開」  
順天堂大学医学部附属浦安病院 近藤 豊
- PD4-2 「日本外傷データベースを用いた予測モデルの構築と検証」  
東京都立墨東病院高度救命救急センター 柴橋 慶多
- PD4-3 「日本外傷データベースを用いた血管内治療に関する研究」  
済生会横浜市東部病院救急科 青木 誠
- PD4-4 「日本外傷データベースを用いた研究を促進する研究チームの構築」  
大阪大学医学部救急医学 中尾俊一郎



- PD4-5 「外傷合併症と外傷内科医の重要性」  
筑波記念病院 阿部 智一
- PD4-6 「矛盾値・外れ値・欠測値への対処」  
亀田総合病院 白石 淳
- PD4-7 「外傷患者に対する ECMO 使用の実態 - 日本外傷データバンクによる解析 -」  
北里大学病院救命救急・災害医療センター 田村 智
- PD4-8 「重症鈍的外傷に対する診療実績の施設間評価」  
東京大学医学部附属病院災害医療マネジメント部 問田 千晶
- PD4-9 「救急救命士の現場活動関与は外傷患者の転帰を改善するか」  
兵庫県災害医療センター 西村 健

■パネルディスカッション 5 「頸髄損傷治療の現状と展望」

- 座長：埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター 井口 浩一  
大阪府立中河内救命救急センター 山村 仁
- PD5-1 「救命センターにおける頸髄損傷超急性期手術の取り組み」  
埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター 井口 浩一
- PD5-2 「頸髄損傷に対する早期手術 in Japan」  
群馬大学大学院医学系研究科整形外科学 筑田 博隆
- PD5-3 「頸髄損傷に対する手術療法の現状」  
関西医科大学総合医療センター救命救急センター脳神経外科 岩瀬 正顕
- PD5-4 「高度救命救急センターにおける頸椎骨折・頸髄損傷の検討」  
横浜市立大学附属市民総合医療センター 松本 匡洋
- PD5-5 「脊髄損傷患者に対する再生医療 ～自家骨髄間葉系幹細胞による静脈内注射～」  
札幌医科大学医学部整形外科学講座 押切 勉

■パネルディスカッション 6 「REBOA に関する現状と展望」

- 座長：山梨県立中央病院 井上 潤一  
八戸市立市民病院救命救急センター 吉村 有矢
- PD6-1 「REBOA が消化管機能に及ぼす影響」  
済生会横浜市東部病院 松本 松圭
- PD6-2 「外傷性心肺停止に対する REBOA の施行率とその有効性について」  
慶應義塾大学医学部救急医学 山元 良
- PD6-3 「外傷診療における REBOA の外傷手術適用：日本外傷データバンクを用いた記述研究」  
帝京大学ちば総合医療センター IVR センター 鈴木 利直
- PD6-4 「REBOA の適切な臨床使用に向けて：基礎研究と教育活動」  
千葉県救急医療センター集中治療科 松村 洋輔
- PD6-5 「大動脈内バルーン遮断 (REBOA) の意義と応用」  
大分大学医学部附属病院高度救命救急センター 石井 圭亮
- PD6-6 「重症体幹部外傷に対する REBOA の有効な活用法 - Combined use, Prophylactic use の提案 -」  
愛知医科大学病院高度救命救急センター 苛原 隆之
- PD6-7 「ドクターカーに REBOA は必要か」  
公立豊岡病院但馬救命救急センター 番匠谷友紀

■パネルディスカッション7 「外傷に関する AI 等の先端科学に関する研究」

座長：順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科 岡本 健  
新潟大学医学部救急医学講座 西山 慶

PD7-1 「医療データにおける AI の適用について」

防衛大学校電気情報学群情報工学科 佐藤 浩

PD7-2 「外傷診療における AI 技術を用いたリアルタイム情報共有」

TXP Medical 株式会社 園生 智弘

PD7-3 「クラスタリングを用いた外傷死の分類 - どのような患者を救命できそうか? -」

独立行政法人国立病院機構水戸医療センター 堤 悠介

PD7-4 「人工知能を用いた骨盤骨折単純 X 線像読影による大量出血の予測 ～臨床医との比較～」

兵庫県立加古川医療センター整形外科 高原 俊介

PD7-5 「拡張現実技術が外傷初期診療にもたらす効果 - NASA-Task Load Index (TLX) による検証」

帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター 伊藤 香

■パネルディスカッション8 「IVR の基礎を放射線科で学ぶ必要性」

座長：帝京大学医学部放射線科学講座 近藤 浩史  
藤田医科大学病院救急科 / 済生会横浜市東部病院救命救急センター 船曳 知弘

PD8-1 「救急医の IVR 研修」

横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター 古郡慎太郎

PD8-2 「24時間365日 IVR のことを考えていられる 2 年間の IVR 研修を終えて」

さいたま赤十字病院高度救命救急センター 人見 秀

PD8-3 「二次救急医療機関の救急部門に所属する救急 IVR 医の一例」

大阪府済生会野江病院 鈴木 聡史

PD8-4 「IVR 研修受け入れアンケート結果報告」

帝京大学医学部放射線科学講座 近藤 浩史

## 第35回日本外傷学会総会・学術集会 日程表

< 1日目 / 5月27日(木) >

### Web 第1会場

8:50~9:00

開会式・会長挨拶

防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門・病院救急部 齋藤 大蔵

9:00~10:00

特別講演3

司会：東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター 大友 康裕

SP-3 「Preparing Surgeons for Combat: A Novel Approach to Training and Assessment」

Professor, Ben Eiseman Professor of Surgery Chief, Division of Trauma and Combat Surgery, Uniformed Services University and the Walter Reed National Military Medical Center, Bethesda, USA Mark W. Bowyer

10:10~11:10

教育講演1：【救急科領域講習】日本救急医学会・救急科専門医 単位付与対象

司会：東北大学病院高度救命救急センター 久志本成樹

EL-1 「DIC と外傷性凝固障害」

札幌東徳洲会病院救急集中治療センター 丸藤 哲

11:20~11:45

一般口演1

【小児外傷】

座長：仙台市立病院救命救急センター 山内 聡

O1-1 野球で受傷した小児十二指腸損傷の1例

.....米盛病院救急科 徳丸 哲平

O1-2 小児重症外傷に対する病院前対応の年齢層別比較

.....横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター 篠原 真史

O1-3 Acute Care Surgery チーム先導の小児体幹部外傷集学的診療の検討

.....帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター 伊藤 香

12:00~13:00

共催ウェビナー1：【凸版印刷(株)】

司会：順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科 田中 裕

W-1 「Beyond 5G時代のデジタル視覚データの真正性と医学活用」(日本救急医学会推薦 AI研究)

演者：凸版印刷(株)情報コミュニケーション事業本部ソーシャルイノベーション事業部先端表現技術開発本部  
高橋 隼人

13:50~14:20

会長講演

司会：地方独立行政法人りんくう総合医療センター大阪府泉州救命救急センター 松岡 哲也

PL 「外傷医療 -明日にける橋-」  
防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門・病院救急部 齋藤 大蔵

14:30~15:30

教育講演3:【救急科領域講習】日本救急医学会・救急科専門医 単位付与対象

司会:大阪市立大学医学部附属病院救命救急センター 溝端 康光

EL-3 「DSTC を中心にした外傷外科教育」  
帝京平成大学健康メディカル学部 藤田 尚

15:40~17:20

シンポジウム1「本邦の外傷医療は本当に向上したか」

座長:帝京大学医学部附属病院 坂本 哲也

東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター 大友 康裕

- S1-1 防ぎえる外傷死 (Preventable Trauma Death; PTD) への取り組み  
.....東京医科歯科大学 大友 康裕
- S1-2 日本の外傷医療の向上とその要因と課題  
.....筑波記念病院 阿部 智一
- S1-3 日本の単独頭部外傷の死亡リスクは改善している:JTDB を使った大規模コホート研究  
.....大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 細見 早苗
- S1-4 千葉県交通事故死亡事例における防ぎ得た外傷死 (PTD) の10年間推移  
.....日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 本村 友一
- S1-5 本邦の小児外傷における院内死亡率の年次推移  
.....東京大学医学部附属病院災害医療マネジメント部 問田 千晶
- S1-6 内閣府が示す交通事故対策における救助・救急活動の成果と今後の課題  
.....自治医科大学附属さいたま医療センター救急科 守谷 俊
- S1-7 UK trauma system と比較した当院の重症開放骨折の治療成績と今後の展望  
.....埼玉医科大学総合医療センター 森井 北斗
- S1-8 地域における外傷医療体制の評価:防ぎ得た外傷死は存在するのか  
.....防衛医科大学校病院救急部 / 八戸市立市民病院救命救急センター 吉村 有矢

17:30~19:20

シンポジウム5「多様化する対テロおよび特殊災害時における初動対応」

座長:日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター 松田 潔

防衛医科大学校病院救急部 関根 康雅

- S5-1 大量殺傷事案の初動は事案の覚知と安全管理が特に重要である -津久井やまゆり園事件-  
.....北里大学医学部救命救急医学 服部 潤
- S5-2 登戸多数殺傷事件における DMAT 活動 -現場対応の観点から-  
.....日本医科大学武蔵小杉病院救命救急科 大嶽 康介
- S5-3 川崎殺傷事件における初期対応の課題  
.....聖マリアンナ医科大学救急医学 下澤 信彦
- S5-4 当院における集団刺傷事件 (津久井やまゆり園・登戸通り魔) の受入経験について  
.....新百合ヶ丘総合病院 伊藤 敏孝
- S5-5 京都アニメーション放火殺人事件における救急対応  
.....京都第一赤十字病院救命救急センター救急科 高階謙一郎

- S5-6 空港におけるテロ発生時の初動対応と空港直近医療機関のトリアージ拠点化  
……りんくう総合医療センター大阪府泉州救命救急センター救命診療科 成田麻衣子
- S5-7 災害初動時における NBC 救急車の病院手術室としての活用  
……東京女子医科大学東医療センター 庄古 知久
- S5-8 在レバノン・パレスチナ難民支援事業の成果と課題 ～バイルート爆発事故の検証～  
……日本赤十字社和歌山医療センター外傷救急部 / 外科 / 国際医療救援要員 益田 充
- S5-9 2011年ノルウェー連続テロ事件に対するオスロ大学病院 Level 1 外傷センターでの対応  
……東京都立多摩総合医療センター救命救急センター 小山 知秀

19:30~20:30

教育講演 6

司会：長崎大学病院救命救急センター 田崎 修

- EL-6 「人工血液 ～外傷治療における明日にける橋～」  
防衛医科大学校免疫・微生物学講座 木下 学

## Web 第 2 会場

9:00~10:00

特別講演 5

司会：神奈川県非常勤顧問・航空自衛隊元空将 山田 憲彦

- SP-5 「Overcoming Tradition: Asking the Right Questions Will Lead Us to Use Whole Relevant Resources even Including Non-Medical Countermeasures in Catastrophe and Pandemic」  
President, Unconventional Concepts, Inc., USA Michael J. Hopmeier

10:10~11:20

パネルディスカッション 1 「外傷医療における医療機器の進歩」

座長：藤田医科大学病院救急科 / 済生会横浜市東部病院救命救急センター 船曳 知弘  
防衛医科大学校病院救急部 霧生 信明

- PD1-1 TEG6s, i-STAT, 画像伝送システムを搭載したドクターカーによる病院前診療と Hybrid ER の効果  
……島根大学医学部附属病院高度外傷センター 室野井智博
- PD1-2 外傷医療における医療機器の進歩当施設におけるハイブリッド ER の運用について  
……東北大学病院高度救命救急センター 藤田 基生
- PD1-3 超軽量ポータブル X 線装置を活用した外傷診療の実践  
……日本医科大学付属病院高度救命救急センター 五十嵐 豊
- PD1-4 一時的閉腹法と Open abdominal management の進歩  
……帝京大学医学部附属病院 長尾 剛至
- PD1-5 外傷医療における医療機器の進歩ともいえる止血帯（ターニケット）とその特徴について  
……防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門 関根 康雅

11:30~11:55

一般口演 2

「骨盤・後腹腔外傷」

座長：佐久総合病院佐久医療センター 田中 啓司

- O2-1 高齢者の脆弱性骨盤輪骨折に対して手術療法を施行した症例の検討  
.....大分三愛メディカルセンター 二宮 直俊
- O2-2 尿道バルーン牽引と陰茎圧迫による止血が効果的であった海綿体出血を伴う一例  
.....県立広島病院 佐伯 辰彦
- O2-3 腎莖部損傷に対し腎摘除術を行い、術後遅発性に高血圧と蛋白尿をきたした1例  
.....さいたま赤十字病院高度救命救急センター救急科 五木田昌士

12:00~13:00

共催ウェビナー2:【キヤノンメディカルシステムズ(株)】

司会:兵庫県災害医療センター 石原 諭

W-2 「Hybrid ERの歴史, 今後」

演者:キヤノンメディカルシステムズ(株)CT営業部 山田 徳和

W-2 「Hybrid ERにおいて展開される外傷診療の現状とこれから」

演者:自治医科大学附属さいたま医療センター 守谷 俊

13:10~14:10

教育講演2:【救急科領域講習】日本救急医学会・救急科専門医 単位付与対象

【外傷教育セミナー】日本外科学会・外科専門医 単位付与対象

司会:堺市立総合医療センター 横田順一郎

EL-2 「新しい時代のJATEC」

社会医療法人緑泉会米盛病院救急科 富岡 譲二

14:20~15:20

教育講演4:【救急科領域講習】日本救急医学会・救急科専門医 単位付与対象

司会:順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科 田中 裕

EL-4 「重症外傷におけるダメージコントロールIVRとは」

藤田医科大学病院救急科 / 済生会横浜市東部病院救命救急センター 船曳 知弘

15:30~16:20

教育講演5

司会:日本体育大学保健医療学研究科 横田 裕行

EL-5 「レーザー誘起衝撃波を用いた頭部爆傷研究最前線」

防衛医科大学校防衛医学研究センター生体情報・治療システム研究部門 佐藤 俊一

16:30~17:20

教育講演7

司会:東京都済生会中央病院救急診療科 関根 和彦

EL-7 「骨盤骨折にともなう尿道外傷のマネジメント ~適切な初期治療と待機的治療は何か?~」

防衛医科大学校泌尿器科学講座 堀口 明男

17:30~18:10

一般口演3

「外傷診療体制(1)」

座長:前橋赤十字病院 中野 実

- O3-1 外傷診療における救急医と外科医の連携 ～ REBOA の効果的な使用について 2 例の経験から～  
 .....石川県立中央病院救命救急センター 南 啓介
- O3-2 市中救急病院における、循環器科内科医による TAE について  
 .....宇治徳洲会病院心臓血管内科 自閑 昌彦
- O3-3 県内の外傷診療の質と体制向上のとりくみ  
 .....前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科救急科 藤塚 健次
- O3-4 緊急 RBC 製剤・REBOA を持ち出し、ドクターヘリで重症外傷患者を転院搬送した 1 例  
 .....県立広島病院救命救急センター 世良 俊樹
- O3-5 初療時 37℃ 以上外傷患者へのコロナウイルス検査実施による外傷診療への影響  
 .....加古川中央市民病院救急科 切田 学

18 : 20～19 : 00

一般口演 4

「外傷診療体制(2)」

座長：自治医科大学附属さいたま医療センター 守谷 俊

- O4-1 小児外傷患者に対する処置前プレパレーションの試み  
 .....あいち小児保健医療総合センター救急科 石川祥一朗
- O4-2 当院における体幹部外傷での外傷診療体制の現状  
 .....奈良県立医科大学附属病院救急医学講座 高野 啓佑
- O4-3 病棟における転倒・転落による頭部外傷に係る死亡事例の分析---診断と対応について---  
 .....鳥取大学医学部附属病院救命救急センター 本間 正人
- O4-4 地方高度救命救急センターでのトラウマコール導入  
 .....前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科 生塩 典敬
- O4-5 モバイル C-arm・手術システムの ER への導入  
 .....平塚市民病院救急科・救急外科 葉 季久雄

19 : 10～20 : 00

一般口演 5

「頭部外傷」

座長：さいたま赤十字病院救命救急センター長 清田 和也

- O5-1 レーザー誘起衝撃波を用いた軽症頭部爆傷モデルマウスに対する SSRI の効果  
 .....自衛隊中央病院救急科 瀬野宗一郎
- O5-2 頭部外傷として救急搬送されるも動脈瘤破裂による内因性急性硬膜下血腫であった一例  
 .....さいたま赤十字病院高度救命救急センター 古谷慎太郎
- O5-3 眼窩外側壁骨膜下血腫による外傷性眼窩コンパートメント症候群の一例  
 .....順天堂大学医学部救急・災害医学研究室 高木 淑恵
- O5-4 作業用エレベーター関連外傷による頭蓋骨開放性粉碎骨折の 1 例  
 .....関西医科大学総合医療センター救命救急センター脳神経外科 岩瀬 正顕
- O5-5 最重症頭部外傷患者に対し外来小開頭術を行い救命し得た一例  
 .....奈良県立医科大学附属病院救命センター 田中 晃矢
- O5-6 当センターでの頭部外傷後早期痙攣症例の検討  
 .....大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 中村 洋平

## Web 第3会場

9:00~9:40

一般口演6

〔四肢外傷〕

		<b>座長：南多摩病院救急科 加藤 宏</b>
O6-1	腕神経叢引き抜き損傷に合併した横隔神経麻痺を腹部エコーにて診断した1例 .....東京慈恵会医科大学附属柏病院救急部	谷島 和
O6-2	大腿動静脈損傷に対して Cross Limb Vascular Shunt が有用であった1例 .....北里大学医学部救命救急医学	増田 智成
O6-3	下腿コンパートメント症候群後の機能再建 .....大阪市立大学医学部附属病院救命救急センター	宮下 昌大
O6-4	下肢温存を選択した下腿開放骨折 G3B の治療経験 .....埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター	高橋 翼
O6-5	重度下腿外傷の1年後患者立脚型評価—患肢温存と切断の比較— .....帝京大学医学部附属病院外傷センター	黒住 健人

9:50~10:30

一般口演7

〔IVR・NOM(1)〕

		<b>座長：済生会横浜市東部病院救急科 山崎 元靖</b>
O7-1	外傷性腸間膜損傷に対する止血戦略として、IVR 先行で開腹手術を行った2例 .....船橋市立医療センター救急科	三浦 剛史
O7-2	鈍的外傷性脾・腎損傷に併発した動静脈瘻に対し血管塞栓術が奏効した1例 .....順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科	大場 次郎
O7-3	外傷性腰動脈仮性瘤からの血管外漏出に対してステントグラフト内挿術を施行した一例 .....倉敷中央病院心臓血管外科	三浦 耕司
O7-4	総腸骨静脈損傷に伴う血栓塞栓症の一例 .....君津中央病院救急・集中治療科	石垣 佳織
O7-5	IVR チームの primary survey への参加は循環不安定な外傷患者の予後改善と関連する .....独立行政法人国立病院機構災害医療センター救命救急センター	岡田 一郎

10:40~11:15

一般口演8

〔IVR・NOM(2)〕

		<b>座長：千葉県救急医療センター 松村 洋輔</b>
O8-1	動脈塞栓術で urinoma の治癒が得られた腎副動脈を伴う腎損傷 III b の1例 .....帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター	中澤佳穂子
O8-2	IVR と尿管ステントにより治療した腎損傷 IIIb (H2U2) の2例 .....日本赤十字社医療センター救命救急センター	諸江 雄太
O8-3	肝損傷後遅発性血管損傷についての検討 .....山梨県立中央病院	釘宮 愛子
O8-4	軽微な外傷に関わらず重度皮下血腫をきたした症例の検討 .....伊勢赤十字病院外科	佐藤 啓太



11:25~12:00

一般口演9

「高齢者外傷」

座長：福岡県済生会福岡総合病院救命救急センター 則尾 弘文

- O9-1 多発肋骨骨折に対して内固定術を行い呼吸症状の改善が認められた症例  
 .....湘南藤沢徳洲会病院整形外科 橋本 拓
- O9-2 人工呼吸不要な高齢者のフレイル chests に観血的肋骨固定術が有効であった1例  
 .....山梨県立中央病院高度救命救急センター 吉田 侑真
- O9-3 高齢者大腿骨近位部骨折手術を低侵襲麻酔で行うことの有用性について  
 .....東京曳舟病院 浜本 健作
- O9-4 高齢者大腿骨近位部骨折に対する早期手術の取り組み  
 .....慶應義塾大学医学部救急医学 宇田川和彦

12:05~13:05

共催ウェビナー3：【一般社団法人 日本血液製剤機構】

司会：東北大学病院高度救命救急センター 久志本成樹

- W-3 「Real world data を用いた臨床研究 - 敗血症性 DIC にアンチトロンビン製剤はどうか -」  
 演者：日本医科大学武蔵小杉病院救命救急科 田上 隆

13:10~14:00

教育講演8：【AIS セミナー】日本外傷学会専門医 単位付与対象

司会：帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター 三宅 康史

- EL-8 「日本外傷データバンクの新システム構築とデータ入力について」  
 バーズ・ビュー株式会社救急・災害医療 ICT 開発部 高倉 経之

14:10~17:50

教育講演9：【AIS セミナー】日本外傷学会専門医 単位付与対象

司会：佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター 阪本雄一郎

- EL-9 「JTDB セミナー：AIS2008 コーディング (実習を含む)」  
 Curtin University, Prehospital, Resuscitation, Emergency Care Research Unit, Australia 東平日出夫

18:00~18:40

一般口演10

「顔面・頸部外傷」

座長：慶應義塾大学医学部救急医学 佐々木淳一

- O10-1 墜落による顔面外傷から入院後心肺停止に至った一症例  
 .....東京女子医科大学救急医学講座 小坂 眞司
- O10-2 経眼窩穿通性頭部外傷の一例  
 .....岩手医科大学医学部岩手県高度救命救急センター 小守林靖一
- O10-3 交通事故での前頸部打撲による輪状軟骨骨折の1例  
 .....長崎大学病院高度救命救急センター 上村 恵理
- O10-4 当院における中心性頸髄損傷症例の検討  
 .....東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター 森 周介
- O10-5 高齢者の非骨傷性頸髄損傷に対する積極的治療  
 .....埼玉医科大学総合医療センター 大饗 和憲

18:50~19:50

一般口演11

「COVID-19」

座長：大阪急性期・総合医療センター高度救命救急センター 藤見 聡

- |       |   |       |
|-------|---|-------|
| O11-1 | 交通外傷を伴った重症 COVID-19の一例<br>.....聖マリアンナ医科大学                           | 藤谷 茂樹 |
| O11-2 | 観血的治療を行った新型コロナウイルス感染症を伴う大腿骨近位部骨折の2例<br>.....兵庫県立加古川医療センター整形外科       | 高原 俊介 |
| O11-3 | COVID19肺炎罹患中に頭部外傷を来した症例<br>.....湘南鎌倉総合病院                            | 堀田 和子 |
| O11-4 | COVID-19パンデミックによる緊急事態宣言が外傷センターの手術件数に与えた影響<br>.....帝京大学医学部附属病院外傷センター | 石井 桂輔 |
| O11-5 | COVID-19流行期の救急対応；頭部外傷を契機にクラスターが判明した例を通して<br>.....公立昭和病院救命救急センター     | 小島 直樹 |
| O11-6 | 多発肋骨骨折，COVID-19診断遅延，救急車受け入れ制限<br>.....深谷赤十字病院外傷・救命救急センター            | 大島 綾乃 |
| O11-7 | 当院（2次救急病院）における初療時体温37℃以上の外傷患者状況<br>.....加古川中央市民病院救急科                | 切田 学  |

20:00~20:50

一般口演12

「外傷教育」

座長：筑波大学医学医療系救急・集中治療医学 井上 貴昭

- |       |   |       |
|-------|---|-------|
| O12-1 | JPTEC FR コースは，JPTEC e-learning よりも外傷教育に有効である<br>.....群馬大学大学院医学系研究科救急医学          | 澤田 悠輔 |
| O12-2 | web 会議ツールを利用した救命のための侵襲的手技に関するオンライン講義の試み<br>.....慶應義塾大学医学部救急医学                   | 佐藤 幸男 |
| O12-3 | 感染対策として Thiel 法による固定献体を利用した cadaver surgical training の試み<br>.....慶應義塾大学医学部救急医学 | 佐藤 幸男 |
| O12-4 | 外傷外科手技のための ASSET コースの開催状況の報告<br>.....東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター                    | 森下 幸治 |
| O12-5 | 当院での AIS coding の現状報告と課題<br>.....飯塚病院救急科  | 山田 哲久 |
| O12-6 | 米国における外傷フェローシップの有用性<br>.....沖縄県立中南部病院外科   | 神田 幸洋 |

## 第35回日本外傷学会総会・学術集会 日程表

< 2日目 / 5月28日(金) >

### Web 第1会場

9 : 00~10 : 00

特別講演 1

司会：国立国際医療研究センター病院救命救急センター 木村 昭夫

SP-1 「Blast-induced Neurotrauma : The Role of Ultrastructural Impairments in Complex Cognitive Dysfunction」

Professor, Pathophysiology & Neuroscience, Department of Biomedical Sciences,  
Mercer University School of Medicine, Georgia, USA Ibolja Cernak

10 : 10~11 : 10

特別講演 4

司会：済生会宇都宮病院救命救急センター 小倉 崇以

SP-4 「Bio-Inspired Surfaces and Regional Anticoagulation Strategies for Extracorporeal Life Support : Material Assessment and Development Protocol for Clinical Translation」

The U.S. Army Institute of Surgical Research, San Antonio, USA Teryn R. Roberts

11 : 15~11 : 50

一般口演13

「集中治療」

座長：日本大学医学部救急医学系救急集中治療学分野 木下 浩作

O13-1 呼吸管理を要した外傷性環軸椎亜脱臼の1症例

……………独立行政法人国立病院機構北海道医療センター救急科 井上 望

O13-2 遅発性に Flail chest を呈した多発肋骨骨折の1症例

……………社会医療法人緑泉会米盛病院集中治療部 安達 普至

O13-3 減張切開をせずに良好な転帰を得た和式トイレで発症したクラッシュ症候群の一例

……………JCHO 中京病院救急科 大須賀章倫

O13-4 VV-ECMO により救命し得た電撃型脂肪塞栓症候群の1例

……………奈良県立医科大学附属病院高度救命救急センター 松尾 智暁

12 : 00~13 : 00

共催ウェビナー 4 : 【ケーシーアイ(株)】

司会：埼玉医科大学国際医療センター救命救急科 根本 学

W-4 「四肢外傷領域における V.A.C. ULTA 治療システムの可能性」

演者：埼玉医科大学国際医療センター救命救急科 吉川 淳

13 : 10~14 : 40

シンポジウム 3 「重症外傷の血液凝固線溶異常に対して」

座長：札幌東徳洲会病院救急集中治療センター 丸藤 哲

東北大学病院高度救命救急センター 久志本成樹

S3-1	基調講演：外傷性凝固障害 ― 時を争う病態把握と治療 .....東北大学病院高度救命救急センター	久志本成樹
S3-2	外傷患者に対するトラネキサム酸の効果の検証にはさらなる研究が必要である .....亀田総合病院	白石 淳
S3-3	当院における重症外傷症例に対するフィブリノーゲン製剤の適応について .....大阪府済生会千里病院千里救命救急センター	伊藤 裕介
S3-4	外傷・内因・医原性を包括した外傷医が主導する危機的出血体制 .....JCHO 中京病院救急科	中島 紳史
S3-5	外傷患者におけるアンチトロンビンに関する検討 .....北海道大学病院救急科	高橋 正樹
S3-6	凝固線溶系マーカーのモニタリングに基づいた頭部外傷治療 .....日本医科大学付属病院高度救命救急センター	中江 竜太
S3-7	外傷直後の凝固の活性化と線溶反応の推移 ～ラット多発外傷モデルからの考察～ .....北海道大学病院救急科	早川 峰司

14：50～16：20

パネルディスカッション2 「次世代に伝えたい匠の技」

座長：島根医科大学 Acute Care Surgery 講座 渡部 広明  
日本医科大学付属病院高度救命救急センター 原 義明

PD2-1	手術に対する私のポリシー .....深谷赤十字病院外傷・救命救急センター	金子 直之
PD2-2	肝胆膵領域における外傷外科手術手技 .....島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座	渡部 広明
PD2-3	膜空腸吻合手技の工夫とその実際 .....旭川医科大学外科学講座肝胆膵・移植外科学分野	萩原 正弘
PD2-4	Don't Feel. Think! ～画像の中に真実あり～ .....聖マリアンナ医科大学救急医学救急放射線部門	松本 純一
PD2-5	外傷診療における Interventional Radiology の匠の技 .....帝京大学ちば総合医療センター IVR センター	村田 智
PD2-6	重度胸壁外傷患者に対する観血的肋骨固定の有用性と長期的成績 .....大阪市立大学医学部附属病院救命救急センター	内田健一郎
PD2-7	出血性ショックに対する右心耳内輸液 (IRRAA) の可能性 .....公立豊岡病院但馬救命救急センター	永嶋 太

16：30～17：40

パネルディスカッション7 「外傷に関する AI 等の先端科学に関する研究」

座長：順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科 岡本 健  
新潟大学医学部救急医学講座 西山 慶

PD7-1	医療データにおける AI の適用について .....防衛大学校電気情報学群情報工学科	佐藤 浩
PD7-2	外傷診療における AI 技術を用いたりアルタイム情報共有 .....TXP Medical 株式会社	園生 智弘
PD7-3	クラスタリングを用いた外傷死の分類 -どのような患者を救命できそうか?- .....独立行政法人国立病院機構水戸医療センター	堤 悠介
PD7-4	人工知能を用いた骨盤骨折単純 X 線像読影による大量出血の予測 ～臨床医との比較～ .....兵庫県立加古川医療センター整形外科	高原 俊介

PD7-5 拡張現実技術が外傷初期診療にもたらす効果—NASA-Task Load Index (TLX) による検証  
 .....帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター 伊藤 香

17:50~18:50

一般口演14

「胸部外傷(1)」

座長：大阪医科大学救急医学 高須 朗

- O14-1 受傷2日後に来院し2回のTAEと開胸術をおこなった大量血胸の1例  
 .....長崎大学病院高度救命救急センター 猪熊 孝実
- O14-2 ATP静注によるIntentional Asystole下に修復した心刺創の一例  
 .....山梨県立中央病院高度救命救急センター 萩原 一樹
- O14-3 多発肋骨骨折後に遅発性に大量血胸を来した肋間動脈損傷の一例  
 .....青森県立中央病院 齋藤 兄治
- O14-4 バイク事故による外傷性気管支損傷の一例  
 .....大阪警察病院 大石 祐希
- O14-5 フレイルチェストに対する肋骨固定術前後の4DCTによる評価  
 .....さいたま赤十字病院高度救命救急センター 長谷川一貴
- O14-6 フレイルチェストに肋間肺ヘルニアを合併した1例  
 .....近畿大学病院救命救急センター 松島 知秀
- O14-7 肺挫傷に伴う脳空気塞栓症により脳浮腫をきたした1例  
 .....聖路加国際病院救急部・救命救急センター 曾 充人

19:00~20:00

一般口演15

「胸部外傷(2)」

座長：東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター・ERセンター 加地 正人

- O15-1 早期血管内治療を必要とした鋭的外傷による大動脈瘤の一例  
 .....岡山大学病院救命救急科 中村 俊介
- O15-2 フレイルチェストに対する肋骨固定術後に顕在化した外傷性横隔膜損傷の一例  
 .....千葉県救急医療センター外傷治療科 潮 真也
- O15-3 緊急室開胸し救命した重症肺損傷の一例  
 .....東京女子医科大学東医療センター救命救急センター 中本 礼良
- O15-4 経過中に上行大動脈解離を合併し救命できなかった一例  
 .....福井県立病院救命救急センター 狩野 謙一
- O15-5 胸骨骨折に対する骨接合術の経験  
 .....兵庫県災害医療センター 矢形 幸久
- O15-6 外傷性肺嚢胞の実態と管理法の検討  
 .....川口市立医療センター救命救急センター 橋場 奈月
- O15-7 外傷救急外科医・呼吸器外科医・救急医の共同による外科的肋骨固定の現状  
 .....製鉄記念広畑病院外科 坂平 英樹

## Web 第2会場

9:00~10:00

### 特別講演2

司会：東京大学医学部附属病院救命救急センター 森村 尚登

SP-2 「Military Contributions to the Future of Medicine」

COL (R), Medical Corps, US Army / Professor of Neurology, USU /  
Professor of Neurology, Johns Hopkins, USA Geoffrey S.F. Ling

10:10~11:10

### シンポジウム2 「新専門医制度に基づく次世代の外傷医に求められるもの」

座長：八戸市立市民病院救命救急センター 今 明秀

深谷赤十字病院救命救急センター 金子 直之

S2-1 外傷専門医の地域による偏在是正と高い質の維持

.....八戸市立市民病院 今 明秀

S2-2 合併症を起こさない気管挿管を基本として、A, Bの異常に対応できる技術が求められる

.....聖路加国際病院救急部・救命救急センター 一二三 亨

S2-3 JATEC テキスト・コース改訂と今後の課題

.....東京医科大学救急・災害医学分野 織田 順

S2-4 新専門医制度に基づく次世代の外傷医に求めるもの：専門医を認定する立場から

.....日本外傷学会専門医認定委員会 河野 元嗣

11:15~11:55

### 一般口演16

#### 「病院前外傷診療」

座長：埼玉医科大学国際医療センター救命救急科 根本 学

O16-1 交通事故による多数傷病事案としてDrカーにて病院前診療を行った外傷性胃破裂の一例

.....県立広島病院救急科 三谷 雄己

O16-2 救急自動通報システム (D-call Net) により迅速に対応できた乗用車単独事故症例

.....日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 太田黒崇伸

O16-3 重症胸部外傷における、ヘリ搬送及び救急車搬送の比較

.....順天堂大学医学部附属静岡病院救急診療科 申田 好宏

O16-4 現場開胸したが救命しえなかった右房破裂による右大量血胸の1例

.....八戸市立市民病院救命救急センター 十倉 知久

O16-5 成人重症外傷に対するドクターヘリ診療の意義—傾向スコア分析を用いた観察研究—

.....久留米大学医学部救急医学講座 鍋田 雅和

12:00~13:00

### 共催ウェビナー5：【TXP Medical(株)】

司会：島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座 島根大学高度外傷センター 渡部 広明

W-5 「プレホスピタル領域を中心としたICT活用の先進的事例紹介—未来の外傷診療を考える—」

演者1：済生会宇都宮病院救急・集中治療科 栃木県救命救急センター 藤田 健亮

演者2：TXP Medical(株) 代表取締役医師・日立総合病院救急集中治療科 園生 智弘

13:10~14:30

シンポジウム4 「重症頭部外傷の臨床最前線」

	<b>座長：</b> 日本医科大学付属病院高度救命救急センター	<b>横堀 将司</b>
	防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門	<b>戸村 哲</b>
S4-1	重症頭部外傷患者における生命機能転帰改善のための方策 .....日本医科大学付属病院高度救命救急センター	横堀 将司
S4-2	日本頭部外傷データバンク (JNTDB) から見た重症頭部外傷の現状 .....千葉県救急医療センター	宮田 昭宏
S4-3	重症頭部外傷の治療戦略 .....国際医療福祉大学成田病院脳神経外科	末廣 栄一
S4-4	重症急性硬膜下血腫の転帰を改善するには超緊急の減圧開頭術が必要である！ .....済生会滋賀県病院救命救急センター・救急集中治療科	塩見 直人
S4-5	多発外傷を伴う小児重症頭部外傷と頭蓋内圧モニタリング .....日本医科大学多摩永山病院救命救急センター	柴田 あみ
S4-6	乳幼児急性硬膜下血腫の診断と治療 -虐待による頭部外傷との鑑別- .....埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター	荒木 尚

14:40~16:30

パネルディスカッション4 「日本外傷データバンクを用いた研究最前線」

	<b>座長：</b> 帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター	<b>三宅 康史</b>
	Curtin University, Australia	<b>東平日出夫</b>
PD4-1	日本外傷データバンクを用いたテーラーメイド医療の展開 .....順天堂大学医学部附属浦安病院	近藤 豊
PD4-2	日本外傷データバンクを用いた予測モデルの構築と検証 .....東京都立墨東病院高度救命救急センター	柴橋 慶多
PD4-3	日本外傷データバンクを用いた血管内治療に関する研究 .....済生会横浜市東部病院救急科	青木 誠
PD4-4	日本外傷データバンクを用いた研究を促進する研究チームの構築 .....大阪大学医学部救急医学	中尾俊一郎
PD4-5	外傷合併症と外傷内科医の重要性 .....筑波記念病院	阿部 智一
PD4-6	矛盾値・外れ値・欠測値への対処 .....亀田総合病院	白石 淳
PD4-7	外傷患者に対する ECMO 使用の実態 -日本外傷データバンクによる解析- .....北里大学病院救命救急・災害医療センター	田村 智
PD4-8	重症鈍的外傷に対する診療実績の施設間評価 .....東京大学医学部附属病院災害医療マネジメント部	問田 千晶
PD4-9	救急救命士の現場活動関与は外傷患者の転帰を改善するか .....兵庫県災害医療センター	西村 健

16:50~17:40

一般口演17

「多発外傷(1)」

	<b>座長：</b> 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター	<b>小倉 裕司</b>
O17-1	ハイブリッド ER から始まる Acute Care Surgery で救命しえた重症多発外傷の1例 .....米盛病院救急科	徳丸 哲平

- O17-2 重症頭部外傷を合併したフレイルチェストに対し観血的固定術を施行した1例  
 .....山梨県立中央病院高度救命救急センター 笹本 将継
- O17-3 外傷後胸腔内遺残血腫に対する消化管内視鏡を用いた血腫除去術が奏効した一例  
 .....埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター 平埜 貴久
- O17-4 墜落による外傷性胆嚢損傷の一例  
 .....関西医科大学医学部救急医学講座 玉垣 圭祐
- O17-5 鈍的外傷によるヘルニアを伴わない横隔膜損傷の3例  
 .....武蔵野赤十字病院救命救急科 蕪木 友則
- O17-6 フレイルチェストに対する早期の肋骨固定術の有用性の検討  
 .....奈良県立医科大学高度救命救急センター 小西 浩允

17:50~18:30

一般口演18

「多発外傷(2)」

座長：関西医科大学救急医学講座 鎌方 安行

- O18-1 瞳孔散大で搬送された、大腿骨骨折に伴う大腿動脈完全断裂の1例  
 .....深谷赤十字病院外傷・救命救急センター 柚木 良介
- O18-2 急性硬膜外血腫に塞栓術を施行した多発外傷の一例  
 .....製鉄記念広畑病院救急科 森田 知佳
- O18-3 重症外傷による心肺停止で搬送後に遅れて血中カリウム濃度が上昇した圧挫症候群の1例  
 .....小牧市民病院救命救急センター 井上 卓也
- O18-4 北海道道北地方における雪害事故の現状～IVR症例を中心に～  
 .....旭川医科大学放射線医学講座 石戸谷俊太
- O18-5 大腿骨骨幹部骨折に対する初期治療を乳酸値で選択することは可能であるか  
 .....兵庫県災害医療センター整形外科 多田圭太郎

18:40~19:40

一般口演19

「脊椎・脊髄外傷」

座長：帝京大学医学部附属病院外傷センター 鈴木 卓

- O19-1 サバイバルゲーム中に発症した対麻痺；Fibrocartilaginous embolismによる脊髄梗塞  
 .....湘南鎌倉総合病院脳神経外科 堀田 和子
- O19-2 外傷性頸髄損傷に伴う高度徐脈・PEA症例に対する治療経験  
 .....久留米大学病院高度救命救急センター 後藤 雅史
- O19-3 二次救急医療施設の当院に搬送された頸髄損傷の特徴  
 .....東海大学医学部八王子病院 杉田真理子
- O19-4 不安定性を有する頸椎外傷症例に椎孔周囲スクリュウ（PVFS）法は有効か？  
 .....君津中央病院整形外科 藤由 崇之
- O19-5 多発肋骨骨折を伴う脊椎外傷の腹臥位での早期脊椎手術が呼吸状態に影響を及ぼすか  
 .....国保直営総合病院君津中央病院整形外科 矢崎めぐみ
- O19-6 脊椎骨折を伴う胸骨骨折症例の転帰  
 .....高知医療センター整形外科 山川 泰明
- O19-7 外傷性胸腰椎椎体骨折と椎体癒合の関係  
 .....国立病院機構水戸医療センター整形外科 中川 翔太



## Web 第3会場

9:00~10:20

### パネルディスカッション3 「外傷画像診断の最前線」

座長：筑波メディカルセンター病院救急診療科 河野 元嗣  
 国立水戸医療センター救命救急センター 土谷 飛鳥

- PD3-1 外傷診療における2管球CT装置の有用性  
 .....国立病院機構水戸医療センター 田中 善啓
- PD3-2 胸壁損傷による胸腔内容量変化による肺炎予測能の検証 既存の評価法との比較  
 .....奈良県立医科大学高度救命救急センター 川井 廉之
- PD3-3 優れた外傷画像診断には多職種チームによる地道な画像作成適正化が必要である  
 .....和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 米満 尚史
- PD3-4 四肢外傷におけるWorkStationを使用した手術プランニング支援画像の有用性  
 .....湘南鎌倉総合病院 清水 利光
- PD3-5 ハイブリッドERにおけるwhole body CTの実際 -診療放射線技師の立場から-  
 .....済生会横浜市東部病院放射線部 藤森 章史
- PD3-6 画像は予後を改善しない  
 .....聖マリアンナ医科大学救急医学救急放射線部門 昆 祐理

10:30~12:00

### パネルディスカッション6 「REBOAに関する現状と展望」

座長：山梨県立中央病院 井上 潤一  
 八戸市立市民病院救命救急センター 吉村 有矢

- PD6-1 REBOAが消化管機能に及ぼす影響  
 .....済生会横浜市東部病院 松本 松圭
- PD6-2 外傷性心肺停止に対するREBOAの施行率とその有効性について  
 .....慶應義塾大学医学部救急医学 山元 良
- PD6-3 外傷診療におけるREBOAの外傷手術適用：日本外傷データベースを用いた記述研究  
 .....帝京大学ちば総合医療センターIVRセンター 鈴木 利直
- PD6-4 REBOAの適切な臨床使用に向けて：基礎研究と教育活動  
 .....千葉県救急医療センター集中治療科 松村 洋輔
- PD6-5 大動脈内バルーン遮断(REBOA)の意義と応用  
 .....大分大学医学部附属病院高度救命救急センター 石井 圭亮
- PD6-6 重症体幹部外傷に対するREBOAの有効な活用法 - Combined use, Prophylactic useの提案 -  
 .....愛知医科大学病院高度救命救急センター 苛原 隆之
- PD6-7 ドクターカーにREBOAは必要か  
 .....公立豊岡病院但馬救命救急センター 番匠谷友紀

13:10~14:20

### パネルディスカッション5 「頸髄損傷治療の現状と展望」

座長：埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター 井口 浩一  
 大阪府立中河内救命救急センター 山村 仁

- PD5-1 救命センターにおける頸髄損傷超急性期手術の取り組み  
 .....埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター 井口 浩一

- PD5-2 頸髄損傷に対する早期手術 in Japan  
 .....群馬大学大学院医学系研究科整形外科学 筑田 博隆
- PD5-3 頸髄損傷に対する手術療法の現状  
 .....関西医科大学総合医療センター救命救急センター脳神経外科 岩瀬 正顕
- PD5-4 高度救命救急センターにおける頸椎骨折・頸髄損傷の検討  
 .....横浜市立大学附属市民総合医療センター 松本 匡洋
- PD5-5 脊髄損傷患者に対する再生医療～自家骨髄間葉系幹細胞による静脈内注射～  
 .....札幌医科大学医学部整形外科学講座 押切 勉

14:30～15:30

パネルディスカッション 8 「IVRの基礎を放射線科で学ぶ必要性」

- 座長：帝京大学医学部放射線科学講座 近藤 浩史  
 藤田医科大学病院救急科 / 済生会横浜市東部病院救命救急センター 船曳 知弘
- PD8-1 救急医のIVR研修  
 .....横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター 古郡慎太郎
- PD8-2 24時間365日IVRのことを考えていただける2年間のIVR研修を終えて  
 .....さいたま赤十字病院高度救命救急センター 人見 秀
- PD8-3 二次救急医療機関の救急部門に所属する救急IVR医の一例  
 .....大阪府済生会野江病院 鈴木 聡史
- PD8-4 IVR研修受け入れアンケート結果報告  
 .....帝京大学医学部放射線科学講座 近藤 浩史

15:40～16:30

一般口演20

「腹部外傷(1)」

- 座長：神戸大学医学部附属病院救命救急センター 小谷 穰治
- O20-1 シートベルト損傷による外傷性右下腰ヘルニアの一例  
 .....健和会大手町病院 松田 知也
- O20-2 幽門側胃切後腹部多発性外傷の1例  
 .....埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター 田中はるか
- O20-3 REBOAが有用であった重症肝損傷の1例  
 .....佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター 松岡 綾華
- O20-4 C tube留置を含めた3段階手術が有用であった高度グリソン損傷を伴う肝損傷の1例  
 .....聖隷浜松病院肝胆膵外科 正田智紗子
- O20-5 外傷性肝損傷後に下大静脈血栓症を合併した2例  
 .....国立病院機構横浜医療センター救急・総合診療科 南 さくら
- O20-6 コイル塞栓, FFバイパス, ステントグラフト留置で救命した高所墜落による総腸骨動脈損傷  
 .....東京都立墨東病院高度救命救急センター 松永 裕樹

16:40～17:20

一般口演21

「腹部外傷(2)」

- 座長：兵庫県災害医療センター高度救命救急センター 石原 諭
- O21-1 初診時CTで診断し得ずに救命できなかったIIa型小腸損傷の1例  
 .....八戸市立市民病院救命救急センター 田中 航
- O21-2 主膵管評価に難渋した鈍的外傷による膵損傷の1例  
 .....横浜市立大学附属市民総合医療センター 川村 祐介

- O21-3 ERPにて主膵管損傷を評価できなかった外傷性膵損傷の1例  
 .....奈良県総合医療センター救命救急センター 藤井 一喜
- O21-4 近赤外光観察を用いた腸管血流評価の外傷症例への適応  
 .....横須賀共済病院外科 山口 敬史
- O21-5 当院における外傷性腸間膜損傷の治療戦略の検討  
 .....東京慈恵会医科大学附属柏病院 明石 卓

17:30~18:20

一般口演22

「Damage Control Surgery」

座長：松戸市立総合医療センター救命救急センター 村田 希吉

- O22-1 REBOAを併用し3度の手術と2度のTAEにて救命した鈍的腹部外傷の1例  
 .....弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター 石澤 義也
- O22-2 Perihepatic packingとTAEの計画的併用により治療した肝コンパートメント症候群の1例  
 .....東北大学病院高度救命救急センター 佐藤 武揚
- O22-3 肝動脈-門脈シャントにより緊急塞栓術が施行できず手術治療を要した肝損傷IIIbの1例  
 .....三重大学医学部附属病院救命救急・総合集中治療センター 新貝 達
- O22-4 IIIb型外傷性肝損傷開腹止血後の胆汁漏れに対し、内視鏡的ステント留置にて治療した1例  
 .....北九州市立八幡病院救命救急センター外科 山吉 隆友
- O22-5 腹部刺創に対して開腹手術に先行しTAEを行い救命した肝損傷の1例  
 .....北里大学病院一般外科 加藤 智之
- O22-6 Thoracic damage control surgeryとして非解剖学的肺全摘出を行った一例  
 .....日本医科大学千葉北総病院救命救急センター/ショック・外傷センター 安松比呂志

18:30~19:40

一般口演23

「外傷初期診療」

座長：防衛医科大学防衛医学講座 清住 哲郎

- O23-1 胸部外傷症例における潜在性血気胸症例に対する胸腔ドレナージ適応の検討  
 .....日本医科大学千葉北総病院 黒田 紘典
- O23-2 階段転落は高エネルギー外傷か？  
 .....国立病院機構災害医療センター救命救急科 井上 和茂
- O23-3 地域外傷診療における救急クリニックの役割  
 .....板垣救急クリニック 板垣 有亮
- O23-4 当施設におけるトラウマコードの運用  
 .....船橋市立医療センター救急科 蘇我 孟群
- O23-5 Undertriageから考えるTrauma Team Activation  
 .....健和会大手町病院外科 三宅 亮
- O23-6 右側大動脈弓患者に病院前で蘇生的開胸術を行った一例  
 .....八戸市立市民病院救命救急センター 森 仁志
- O23-7 めまいを主訴に耳鼻科外来を受診され外傷性脾損傷の診断に至った1例  
 .....帝京大学医学部附属溝口病院外科 高島 順平
- O23-8 フレイルチェストに対してVV-ECMOを導入後、循環動態が改善した一例  
 .....りんくう総合医療センター・大阪府泉州救命救急センター救命診療科 根本 大資

19:50~20:30

一般口演24

「その他」

座長：久留米大学病院高度救命救急センター 山下 典雄

- O24-1 外傷に対する鏡視下手術の検討  
.....健和会大手町病院救急科 古城 都
- O24-2 大量輸血プロトコール (MTP) は輸血製剤を無駄にする？  
.....山梨県立中央病院高度救命救急センター 岩瀬 史明
- O24-3 急性期災害医療コースの開設が外傷多数傷病者事案対応の強化につながった。  
.....原町赤十字病院救急科・医療社会事業課 町田 浩志
- O24-4 重症熱傷の入院加療中に消化管穿孔を合併した一例  
.....横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター 加藤 真
- O24-5 バイオインフォマティクス技術による重症外傷の血球由来サイトカインネットワーク評価  
.....大阪大学附属病院高度救命救急センター 松本 寿健

20:30~20:40

閉会式・会長挨拶